

第4回滋賀県公園緑地検討協議会 びわこ地球市民の森部会 議事要旨

開催日時	令和2年(2020年)2月26日(水) 9:00~11:00
開催場所	びわこ地球市民の森 森づくりセンター セミナールーム
出席委員 (敬称略、五十音順)	今井委員、江見委員、轟委員、中島委員、馬場委員、平松委員代理、 【全7委員、出席6委員】

① びわこ地球市民の森の活性化検討状況について

令和元年12月末に公表したサウンディング調査の実施結果について説明。びわこ地球市民の森においては、サウンディング調査希望者は0であったことを説明。

<主な意見等>

- ・他の県営都市公園と違って、スポーツ施設や文化施設が無く純粋な緑地が広がる公園であり、事業者にとって収益性を上げることが難しいと判断されたのではないかと。
- ・この公園は、森づくりがコンセプトであるが森が形作られるまであと20年かかる。公園の姿としてはかなり変わるであろう。時間がかかるものであり、当初はこのような利活用について議論はされていなかった。たちまちの利活用ではイメージがつかめなかったのではないかと。
- ・まだまだ公園として発展途上であるように思う。まだソフトの充実として出来ることはあるのではないだろうか。
- ・公園の魅力向上や、周辺施設との一体となった活性化の検討など県営都市公園としてのPRやブランディングなどを検討して公園のボトムアップを図る必要があるのではないかと。
- ・Park-PFIに限らず、指定管理者制度の充実などどのような形で活性化を進めていくのかももう少し考える必要がある。

② 地域によるびわこ地球市民の森の活性化に関する意見について

馬場委員より、速野学区で開催されたふるさとづくりフォーラムについて報告。地域の方々を中心に、びわこ地球市民の森をテーマに、公園だけでなく地域の活性化についての意見が出された。

<主な意見等>

- ・森づくりとしてはまだまだもう少し時間がかかるため、利活用についてはもう少し時間をかけて考えたほうが良い。
- ・当初のコンセプトを基に、森を活かした活性方法を検討していく必要がある。
- ・公園内にある水路は、河川としては機能しておらずただの水路となっている。水遊びなど望む声は多いが、もともと天井川だったこともあり、難しいのが現状である。
- ・非常に熱心な議論があり、多様なニーズに対して地域との共存が重要になるだろう。
- ・子供たちの意見を聞く場を持つても良いだろう。
- ・今後も地域と連携した取り組みを進めていければ良い。

③ 滋賀県営都市公園マネジメント基本方針(案)の策定について

現在の策定状況を報告。

<主な意見等>